

エコシティ相馬を担う 人材育成事業



エコ教室で電気が伝わる実験中

エコ教室の参加者数 **33人**

省エネ教室参加者数 **11人**

活動の全体目標に
対する達成度 **80%**

課 題

震災から時がたち、被災地でもエネルギーについての関心が薄れつつある。改めて小・中学生に再生可能エネルギー、省エネの意義を発信し、実践する人を増やす必要がある。

目 標

相馬に一人でもエネルギーについての知識を身に付け、再生可能エネルギー導入、省エネを実践する人が増えること。相馬市が将来、エネルギーの地産地消モデルになる土壌をつくること。

活動内容

1. 小学生向けの電気に関するエコ教室
2. 市内施設に省エネ診断士を派遣
3. 中学生向けの省エネ教室
4. 再生可能エネルギーについての先進事例調査
5. 再生可能エネルギー具体化のためのポテンシャル調査
6. 得られた知見を共有するためのシンポジウムと講座2回



省エネ教室で中学生は
熱心に見学

達成できなかったこと

小中学生への情報発信は、ある程度の成果を上げられたが、大人向けへの参加の呼びかけは難しかった。反原発が政治問題化し、アレルギーがあったものと思われる。

今後の展望

太陽光発電以外の再生可能エネルギーを具体化し、その意味を目に見える形で訴えていきたい。

成果と工夫した ポイント



成果

太陽光による発電量が増え、2017年には相馬市内の電気使用量の35%が太陽光発電になる予定。省エネに取り組む企業が相馬市内に増えた。

工夫

エコ教室の参加者を増やすために開催日時を修正、個人の参加者ではなく学校行事として全員参加を実現。